

投票率低下の検証を 米原市議選山脇・藤田両氏当選



米原市民報

日本共産党米原市会議員

山脇正孝 Tel 52-1093

日本共産党米原市会議員

藤田正雄 Tel 55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

本報湖北地区委員会

10月12日告示19日投票の米原市議選終わりました。16人の定数に対して19人が立候補するという激戦野中、日本共産党は2議席を獲得しました。同時に行われた県下5市の市議選は10人全員が当選するという結果となりました。日本共産党湖北地区委員会の声明を掲載します。また投票率は2回連続下がり5割を切る結果となりました。

◆ 19日投開票された米原市議会議員選挙の結果、藤田正雄、山脇正孝両氏が当選を果たし2議席を確保しました。得票は1231票、得票率8.32%、前回選挙を得票率とも下回りましたが、今年の参院選、24年総選挙での共産党比例票を上回りました。投票率は49.07%で前回から10ポイント近く低くなりました。

市民の切実な願い

◆ 日本共産党は、今回の市議選で、「市民の暮らしと命、健康を守る」とスローガンを掲げてたたかいました。選挙戦は3人はみ出した。大激戦となり、とりわけ旧米原、山東地域で有力な現職、新人が入り乱れたたかいとなりました。

しかし物価高のもとで「暮らしを何とかしてほしい」という市民の切実な願いが、わが党への期待につながり、ふたりを押し上げました。

山脇・藤田両氏の訴え

公約実現に全力で

◆ 山脇市議は、暮らし・教育に関する数多くの実績が市民に浸透しました。「中学生への支援金はほんと有助かつた」、「子どもや保護者のことを大事にしてくれている」と思つた」という声が寄せられました。一方で旧町内で競合する候補者の勢いはすさまじいものがありましたが、「暮らしの願いを実現するのほどの候補がおこなつたといえます。市民は良識ある判断

◆ 日本共産党は、今回の選挙でご支援いただきいたみなさん、心から感謝するともに、かかげた公約実現を待つていた支援者のみなさんは、ふたりの当選が決まる」と満面の笑みで喜び合いました。

市議選投票率の推移

2025年10月	2021年10月	2017年10月	2013年10月
49.07%	58.38%	68.35%	66.71%
▲9.31%	▲9.97%	1.64%	—

◆ 有権者からの意見

醒井の有権者の方より次のような意見が議員に話されていました。
① 今回から投票所が河南小体育館になり遠くなつたのと、出入口がわかりにくく、多くの方が棄権された。
② 「投票用まいちやん号」について普段利用していく人には利用しにくい。
③ 移動投票バスについても場所が限られている。各集落30分でも時間を決めてまわつてほしい。との意見がありました。選挙は民主主義の基本です。今後の改善が必要です。

投票率50%切る

いいいたします。

投票率の低下が止まりません。先の参議院選挙から投票所が45か所から16か所に減らされました。期日前の移動投票所やまいちゃん号活用など対策は一応足らっていますが、今回の急激な投票率の低下の原因について、しっかりと検証が必要だと思います。